

神奈川県・関西の高校生たちが被災状況と今後を学ぶ

「第10回全国高等学校鉄道研究交流会」を島田市内で開催

令和6年8月6日から7日にわたり、「第10回全国高等学校鉄道研究交流会」が開催されました。

神奈川県高校鉄道研究部連盟の主催によるもので、神奈川と関西圏から8校が参加。6日は「プラザおおるり」会議室において、大井川鉄道広報の山本豊福氏から同社の歴史から今後についての講演を受けました。その後、「支援する会」山口やすひこ氏からの挨拶につづいて会員である木本晃彦氏から「支援する会」の取り組みが高校生たちへ説明されています。

講演会では22億円という復旧費用や災害現場の画像が映されると、会場から驚きの声があがり、状況の深刻さを生徒一同が感じていました。

7日には新金谷駅に隣接する車両区の見学会を実施。SLの燃料である「石炭(豆炭)」に初めて触れる生徒も多く、「きかんしゃトーマス」整備中の職員へも多くの質問が投げかけられていました。

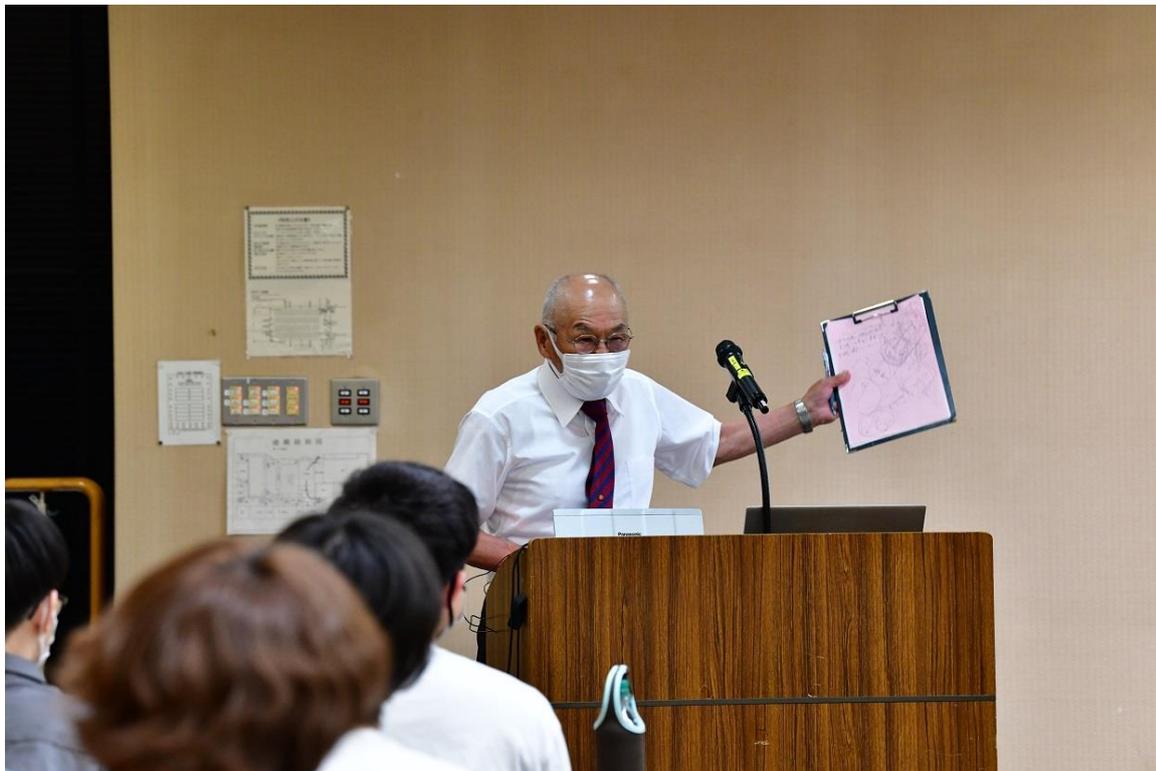
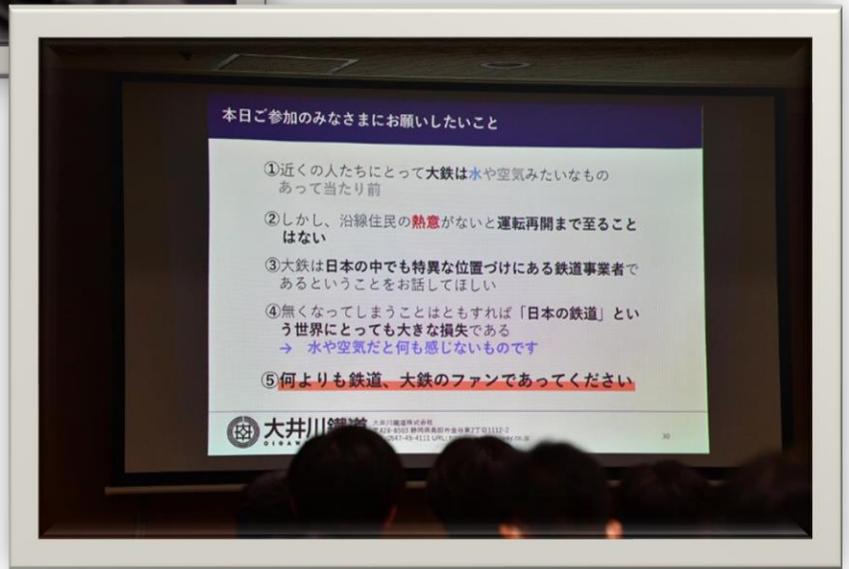


大井川鉄道広報山本豊福氏による講演



運行再開費用
「22億円」が映し出されると
会場からどよめきが…

まとめのお話は
高校生へも響く内容でした!



「支援する会」山口やすひこ氏からの挨拶



石炭(豆炭)の説明を聞く参加者。実際に触らせてもらえました。



車両区では「きかんしゃトーマス」を整備中

活動の内容は静岡新聞にも取り上げられました。

大鉄復旧への取り組み学ぶ 島田で高校鉄道研究部員ら

島田市のプラザおおるりで6日、第10回全国高校鉄道研究交流会（神奈川県高校鉄道研究部連盟主催）が開かれ、一部区間で不通が続く大井川鉄道について、同鉄道や「大井川鉄道全線復旧を支援する会」の代表者が講話を行った。

神奈川県や京都府の7校の鉄道研究部員や教員51人が参加した。大鉄経営企画室の山本豊福さんが鉄道の歴史や被災状況などを解説。支援する会の木元晃彦さんは復旧に向けた取り組みを紹介した。参加者からは「どうやって車両をきれいに保っているか」「利用者の行動パターンは」といった質問が出た。

全国高校鉄道研究交流会は毎年、全国各地の鉄道を訪れ、学びを深めている。



大井川鉄道について理解を深めた第10回全国高校鉄道研究交流会＝島田市のプラザおおるり

ルでは他地域のローカルニュースもご覧

参加校一覧

神奈川県立生田高等学校
神奈川県立神奈川工業高等学校
神奈川県立市ヶ尾高等学校
神奈川県立川崎総合科学高等学校(定時制)
神奈川県私立相洋高等学校
京都府 龍谷大学付属平安高等学校
京都府 京都共栄学園高等学校
兵庫県 雲雀丘学園高等学校
(順不同・敬称略)

